

「文化の薫るまち—やまと—」の実現のために やまと市民討議会 開催結果

「やまと市民討議会～『文化の薫るまち—やまと—』の実現のために～」を開催しました！

大和市では、「文化の薫るまち」を実現することを目指し、市民の方からご意見やアイデアをいただき、市の取り組みの参考とするため、平成30年9月30日（日）に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民3,500名に案内を送付しました。

当日は、そのうち申込みいただいた約40名が参加しました。



当日のプログラム（※台風24号の接近に備え、予定していたプログラムを短縮して実施しました。）



時間	実施内容
9:30	・受付開始
10:00	・開会のあいさつ ・市民討議会の目的について説明
10:10	・市の文化芸術に関する取り組みについて説明
10:30	・文化芸術に関する意見交換 各グループで以下のテーマについて意見交換 ①文化芸術にはどのようなものがありますか。 ②文化芸術とどのような関わり方がありますか。
10:45	・グループワークの進め方、テーマについて確認
10:50	・グループワーク 各グループが割り当てられたテーマについて意見交換
12:10	・成果発表 グループワークで行った意見交換の結果について発表
12:50	・投票 各グループで出された成果について、良いと思ったアイデアへ投票・まとめ
13:00	閉会のあいさつ・アンケート記入

5つのテーマと目指す成果

大和市におけるこれまでの文化芸術振興の取り組みについて課題と捉えている点や、定期的実施している市民アンケートの結果から、今後必要になると思われる点などを整理し、グループワークで話し合うテーマおよび目指す成果を5つ設定しました。

テーマ	目指す成果
1 文化芸術をもっと身近に	文化芸術を鑑賞する市民の割合を増やす
2 大和の歴史や文化を未来へ	大和市の歴史や文化がしっかりと継承されていると思う市民の割合を増やす
3 文化芸術でまちの活性化	文化芸術が盛んに行われていると感じる市民の割合を増やす
4 活発な文化芸術活動への参加	文化芸術活動をする市民の割合を増やす
5 もっと知って欲しい大和の文化芸術	文化芸術イベントの認知度を上げ、参加者を増やす



グループワークのまとめ

当日は9つのグループに分かれ、各グループに割り振られたテーマごとに、目指す成果を達成するために必要な取り組みについて話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

各グループの話し合いの結果は
次ページ以降をご覧ください

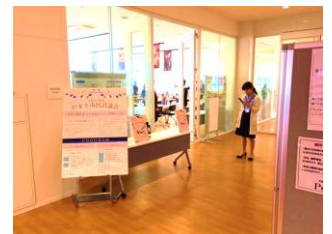
Go Next !

【会場について】

○大和市民交流拠点ポラリス Room6, 7 (大和市中央林間1-3-1)



ポラリスは今年8月にオープンした地域の新たな交流拠点です。



目指す成果 文化芸術を鑑賞する市民の割合を増やす

大和市文化芸術振興条例では、文化芸術を創造し、享受することは人々の生まれながらにしての権利であることから、あらゆる市民が文化芸術に親しむことのできる環境をつくることを基本理念の1つとして掲げています。

しかし、実際に様々な事情により文化芸術を楽しみ、参加することが難しい方もいます。

より多くの市民が文化芸術に親しみ、身近なものとして感じられ、文化芸術を鑑賞するためにはどのような取り組みや対策が必要になるのでしょうか。

グループ1

主な課題

- ・文化芸術に対して「お堅い」イメージがある
- ・教育や体験が不足している
- ・大和の文化芸術が知られていない
- ・忙しくて時間がない

解決のアイデア

(太字は最多得票)

- ・大和出身のアーティストに音楽教室等を開いてもらう
- ・**子どものころから文化芸術に触れられるように大学等の教育の場をつくる**
- ・大和市民以外にも情報提供できるように、SNSを活用してPR番組を作って配信する

グループ6

主な課題

- ・文化芸術に知識・興味がなく、心得・楽しみ方が分からない
- ・お金がない
- ・敷居が高く、参加しづらい
- ・働きすぎて(家事が溜まって)心のゆとりがない

解決のアイデア

(太字は最多得票)

- ・文化芸術を身近に感じられるように、公園のトイレをおしゃれ(インスタスポット)にしてネットワークで拡散する
- ・文化芸術に関するイベントに合わせてフォトコンテストを開催し、多くの「いいね!」を獲得した人に鑑賞チケットを贈呈する
- ・街中に誰でも自由に落書きができるスペースを設置し、**文化芸術に触れやすくする。**

目指す成果 大和市の歴史や文化がしっかりと継承されていると思う市民の割合を増やす

大和市内には歴史的な文化遺産や地域の伝統行事が数多く存在し、市民の貴重な財産として継承されています。これらの文化財は地域の歴史や文化を認識させ、地域への理解や愛着を育み、個性あるまちづくりの基礎となるものです。

しかし、これらは日常生活に当たり前のように溶け込んでいることから、その価値に気づいていない市民は多くいるように思われます。

大和に息づく歴史や文化を守り、大切に作る意識を醸成し、未来へつなげるためにはどのような取り組みや対策が必要になるのでしょうか。

グループ2

主な課題

- ・仕事が忙しくて時間がない
- ・歴史や文化について学ぶ機会がない
- ・文化財が生活の中になく、関りが薄い
- ・文化財に興味がない
- ・文化財に古くさいイメージがある

解決のアイデア

(太字は最多得票)

- ・**大和市週休3日条例を制定し、3日のうち1日は家族や友達と大和の歴史や文化に触れる一日をつくる**
- ・文化財の近くに新たに作ったキャラクターを設置し、一緒に写真を撮ることでポイントをもらい、溜まったポイントをドラマへのエキストラ参加権や大学の単位と交換できるようになるイベントとして、大和市版ポケモンGO！を開催する

グループ7

主な課題

- ・文化財に興味がない
- ・文化財を知らない
- ・注目を集める工夫がない
- ・若い世代の利用が少ない

解決のアイデア

(太字は最多得票)

- ・**大和市内の寺や古民家を、気軽に若者が集い、コーヒーやお茶が飲める写真映えするスポットにすることで、大和の歴史をインスタ映えさせる**
- ・ARやプロジェクションマッピングの活用

目指す成果 文化芸術が盛んに行われていると感じる市民の割合を増やす

日々行われる文化芸術活動は、その周辺の観光や産業、まちづくりといった地域の活力を生み出し、まちへの興味を惹く関連分野への波及効果は高いものと考えます。

将来的な少子高齢化の進展や人口減少社会の到来といった大きな課題を抱えるなか、「住みたい」、「住み続けたい」と選ばれるまちになることが大切です。

文化芸術による魅力的なまちづくりを通じて、より活力ある地域を形成するためにはどのような取り組みや対策が必要でしょうか。

グループ3

主な課題

- ・市民の文化芸術へのニーズを知ること
- ・文化芸術に関する若い人に対するPRが足りない
- ・文化芸術に関して一緒に活動する仲間がいない

解決のアイデア

(太字は最多得票)

- ・シリウス、ポラリス、大和市内各駅などにアンケートBOXを設置する
- ・ヤマトンがYoutuberになり、大和の文化についてSNS映えする動画をつくり、配信する
- ・**10代、20代の文化芸術のコミュニティをつくり、同世代で集まれる場を作ることで、イベントに参加しやすくする**

グループ8

主な課題

- ・イベントの認知度が低い
- ・「大和市＝文化」のイメージがない
- ・大和市民限定のイベントに感じる
- ・イベントに関する子どもへの告知が少ない

解決のアイデア

(太字は最多得票)

- ・**YAMATO イラストレーションデザインコンペで採用されたデザインのフラッグを街中や店の中にかける**
- ・市内の文化芸術イベントを宣伝するフラッグなどを店内にかけた店に対して、芸術ポイントを付与し、助成金や法人税などで優遇措置を行う
- ・イベント名に「やまと〇〇」という名称が多く、最近移り住んできた人が参加しにくいいため、他市と協力してイベントを開催することで、移り住んできた人や市民以外の方も行きやすいイベントにする
- ・子どもが生の演奏や芸術に触れる機会をつくる

目指す成果 文化芸術活動をする市民の割合を増やす

市民による自発的かつ主体的な文化芸術活動は、大和市の文化芸術の環境を支える重要な基盤です。このような文化芸術活動には様々な人々が携わり、継続して活動が行われるよう支援をしています。

しかし、進展を続ける少子高齢化や今後訪れる人口減少社会の到来は、その基盤を揺るがし、活発な文化芸術活動に支障をきたす恐れがあります。

市民による文化芸術活動が将来にわたって安定して行われるためには、人的あるいは金銭的等のあらゆる面で活動を支えるための環境づくりが必要になります。そのためにはどのような取り組みや対策が必要でしょうか。

グループ4

主な課題

- ・文化芸術活動に興味を持つきっかけをつくる
- ・身近なツール（SNS等）で一緒に文化芸術活動をする人を見つけたい
- ・活動団体への支援、指導者等の育成が足りない

解決のアイデア

（太字は最多得票）

- ・**歌舞伎にまつわる美味しいごはん**と歌舞伎鑑賞を掛け合わせるなど、参加型イベントで若い人の興味を引く
- ・芸術活動に実際に参加した人が、ハッシュタグ「#芸術とつながりたい」をつけてSNS(インスタグラム等)で情報を拡散できるようにする

グループ9

主な課題

- ・イベントの企画から実行まで敷居が高い
- ・子どもが小さいと時間が取れない
- ・活動のための資金がない
- ・できること、できないことがわからない

解決のアイデア

（太字は最多得票）

- ・シリウス等文化施設で活動をしたい人に利用しやすい仕組みをつくるため、施設における企画から開催までの活動をコーディネートする人の配置やマニュアルの作成をする
- ・民間と行政の連携、コミュニティづくりを進める
- ・施設利用時の託児制度やファミリー割引の制度化

目指す成果 文化芸術イベントの認知度を上げ、参加者を増やす

大和市の文化芸術に関する取り組みやイベントは、広報やまとや市ホームページなどを中心に行っていますが、必ずしも必要な情報が届いているとは限りません。

また、文化芸術の情報発信は市のほかに、イベントが行われる各施設や実施団体がそれぞれ発信しており、情報が分散してしまっている状況です。

人と文化芸術をつなぎ、あらゆる世代に対して確実に情報を伝えるためにはどのような取り組みや手段が必要でしょうか。

グループ5

主な課題

- ・ 高齢の方の参加が多く、若者の参加が少ない
- ・ 10代から30代へのPR不足
- ・ イベント情報を知る手段として、関わりやすい情報源が少ない
- ・ イベント会場への移動が難しい人がいる
- ・ 規模が小さく、行こうと思えない
- ・ 似たようなイベントが多く、内容に偏りがある

解決のアイデア

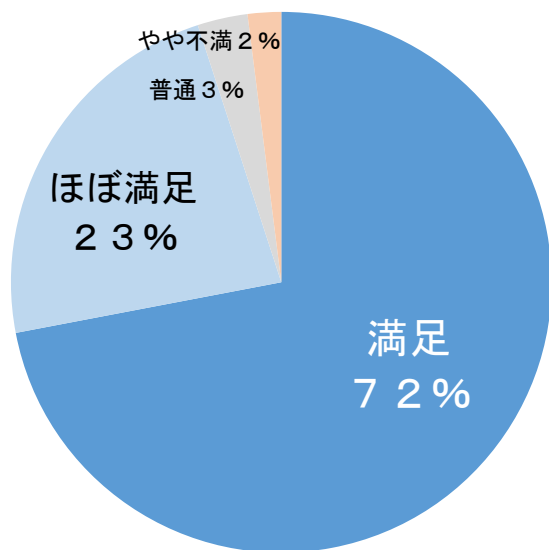
(太字は最多得票)

- ・ **企画段階から運営まですべて活気ある中高生を中心に実施する**
- ・ 通勤通学でにぎわう夕方の駅前などで、ポップアップイベントとして文化芸術活動を実演してもらう
- ・ 目に止まりやすい場所(お店や駅のトイレ、構内等)に目立つポスターを貼る
- ・ 高齢の方や障がいがある方など交通弱者の方のために、芸術イベントの会場までやまとんGO・のろっとの運賃を無料にする



参加者の感想

【市民討議会への満足度】



【主な感想】

- ・若い世代で意見交換ができて、様々なアイデアを得られたことがとても良かった。
- ・活発な話し合いができ、他のグループの発表を聞いて大和の未来に希望が持てた。
- ・職員との今後のつながりが持てれば、次のアクションにつながると思った。
- ・イメージとは違い、とても明るく、意見を出しやすい雰囲気だった。
- ・大和のことを知り、大和のためにいろいろな話が出来た。

今後の取り組みについて

今回の市民討議会でもいただいた意見は、市民参画で得られた貴重なアイデアとして取りまとめ、市の施策展開、検討等の参考としていきます。

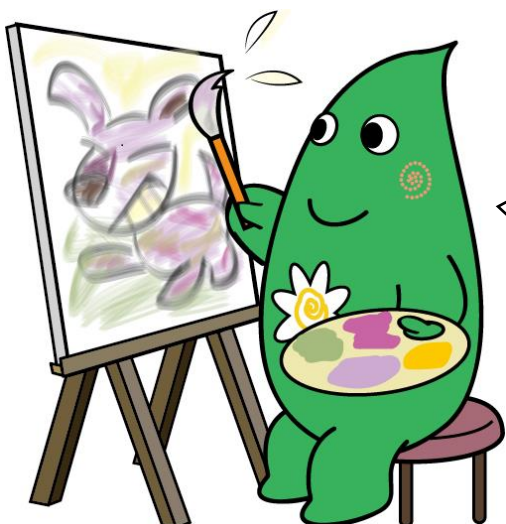
URL: <http://www.city.yamato.lg.jp/web/seisaku/seisaku01211799.html>



お問い合わせ

【やまと市民討議会について】大和市 政策部 総合政策課 電話：046-260-5304

【市の文化芸術施策について】大和市 文化スポーツ部 文化振興課 電話：046-260-5222



みんなで力を合わせて
「文化の薫るまち—やまと—」を
目指しましょう！

大和市イベントキャラクターヤマトン